

2011

3月

第18号



ウツディとよた

WOODY TOYOTA COMMUNICATION

通信

3月11日の宮城県三陸沖を震源とした「東北地方太平洋沖地震」において、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

被災地におかれましては、一日も早く普段の生活に戻れますよう、皆様のご無事を心よりお祈り申し上げます。

豊田森林組合

代表理事組合長 中根 芳郎

役職員一同



《特集》山の手入れをしましょう
～自力作業のすすめ～

関連記事は2～3号

【発行日】平成23年3月25日

【発行】豊田森林組合

〒444-2424

豊田市足助町横枕3番地1

TEL 0565-61-1616

FAX 0565-61-1617

〈Eメール〉

info@woodytoyota.net

〈ホームページ〉

http://www.woodytoyota.net/

●表紙の人 横山敬司さん(6号で紹介)

自力作業のすすめ

山の手入れをしましょう。

いろんな制度を活用してちょっとでもお得に、自分でできることから始めませんか？

○知りたいことは？

自力作業にも補助が出るの？

間伐をはじめ、その他の自力作業にも補助金が出ます。
ぜひ制度を活用しましょう。

詳しくは

自分で間伐した材を出材できる？

適寸に採材した優良材なら市場で委託販売することができます。
また、小径材は組合が買い取りもします。

詳しくは

作業の指導をしてもらえますか？

「とよた森林学校」で自力間伐技術を学ぶ講座があります。また、地域ごとに講習を企画することも可能です。

(関連情報8ページ)

場所もはっきりわからないし、何から始めたらよいかわからない？

森づくり会議では施業界の確定も行います。会議説明会も行うので、ご相談ください。

また、「とよた森林学校」の講座で山林経営全般について学べます。

(関連情報8ページ)

自力で間伐したスギ・ヒノキの出材方法区分

	市場で委託販売する	杭や横木用に組合が買い取り	補助事業を活用した買い取り
採材寸法や条件など	主に2・3・4m(余尺が10cm必要) 採材の参考寸法 ＜直材＞ 末口径8～13cm 4.1m 末口径14～18cm 3.1m(柱材) 末口径20cm～ 4.1m(中目・尺材) ＜曲がり＞ 末口径18cm～ 2.1m ※詳しくは木材センターへお問い合わせください。	長さ 3.1mまたは4.1m 末口径が 8～12cm かつ 元口径が 14cm までのもの 条件: ①曲がりが少ないこと ②大きな傷のないこと ③枝が低く取ってあること ④枯木や腐りのある材不可 ※詳しくは林産課加工担当へお問い合わせください。	長さ 1.8～2.2m 末口径 8cm～ 条件: 曲がりや芯に腐りがあるものでも可 事前に書類の記載が必要 ※詳しくは8ページ参照
価格	市況による㎡あたり平均価格(参考) スギ柱材 8,000円/㎡(本620円) ヒノキ柱材 13,000円/㎡(本1,000円)	参考価格 3m 160～250円/本 4m 200～350円/本 ※価格は品質によります。	1本あたり定額 末口径8～16cm 100円/本 末口径16cm～ 200円/本 ※補助金を含んだ金額

出材する場合は必ず事前に連絡ください。詳細は森林組合林産課(0565-61-1616)・木材センター(0565-62-0245)へお問い合わせください。

▶ 自力作業も補助金が出ます

補助対象条件と金額 (矢作川水源基金・水源林対策事業)

作業別	面積	林齢	補助金 (1反歩当) ※	備考
下 刈	0.05ha以上の山林	1～10	6,700～6,800円	下刈の受付期間は9月30日まで
除 伐		11～15	5,640円	伐採率は10%以上
間 伐		16～60	13,050～16,020円	伐採率は30%以上 (30%未満は10,890円～)
枝 打		16～25	3,040～9,180円	1回の打ち高は2m以上
巻き枯らし間伐		16～60	12,600円	伐採率は40%以上

● その他、植栽や自力での搬出路にも補助金が出ます。

※22年度金額

自力作業補助 申請の流れ

① 補助申請

最寄りの森林組合支所までお立ち寄りください。
植林は6月末、下刈は9月末、その他の施業は2月中旬までに申請をお願い致します。



② 施業の実施

無理なく、安全第一での作業をお願いします。
施業のアドバイスやチェーンソー等林業機械の購入・整備、小径木の買い取り等は森林組合にご相談ください。



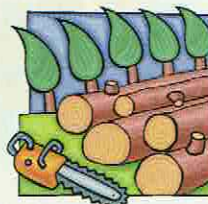
③ 現地調査と測量

組合職員が伺い、伐採状況等の簡易検査及び補助金額確定の為に測量を実施します。
尚、測量の補助をお願いすることもありますので、その際はご協力よろしくお願い致します。



④ 補助金の振り込み

翌年度の5月頃に、補助金が振り込まれます。
(補助申請を頂いた時期等により、次年度になる場合もあります)



お問い合わせは最寄りの森林組合支所へ

豊田支所 TEL0565-41-2010
足助支所 TEL0565-62-1818

旭支所 TEL0565-68-2821
小原藤岡支所 TEL0565-65-2003

下山支所 TEL0565-90-2124
稲武支所 TEL0565-82-2032

く み あ Hot News ホットニュース い



駅前コモスクエア

豊田市内で間伐されたスギを大胆に用いて作成したベンチを豊田市駅前のコモスクエアへ納入しました。駅前にお出掛けの際はチェックしてみてください!

地域材が形を変えて街や学校へ



藤岡南中学校

平成23年に新たに開校する藤岡南中学校の内装材の一部を豊田森林組合で供給しました。豊田市内産のスギ間伐材約1282.5㎡が腰板として使用されています。

新規雇用の作業班員に期待!(22年度緑の雇用研修終了)

平成22年度の緑の雇用担い手対策事業研修が6月1日から1月31日までの8ヶ月間にわたって実施されました。

今年度は、6名の研修生が指導員から林業作業の基礎を学びました。初めは満足に山の斜面を歩くことすらできなかった研修生が、スギ・ヒノキの伐倒から造材までを一通りこなせるようになり、次第に林業作業者の顔に近づいてきたことを実感しました。しかし、本当の試練は、配属先が決まり実践作業が始まってからです。くれぐれも事故だけは起こさないよう注意し森林整備に励んでもらいたいと思います。

一日も早く優秀な作業者となり、組合員の皆様の所有林整備の担い手になることを祈ります。(記/松井保幸)



市制60周年記念植林祭



3月12日(土)、「豊田市制60周年記念植林祭」が下山地区の黒坂市有林で行われました。当日は、市長はじめ、地元の小学生やボランティアなど約150名が参加し、循環型森林資源の活用を目指して、4000本のヒノキを植林しました。

きのこ講習会を実施



3月12日(土)に、豊田森林組合木材センターにおいて「原木きのこ菌打ち講習会」を実施しました。当日は、抽選で決定した20名が参加し、豊田きのこ振興会会員の指導のもと菌打ち作業を行いました。

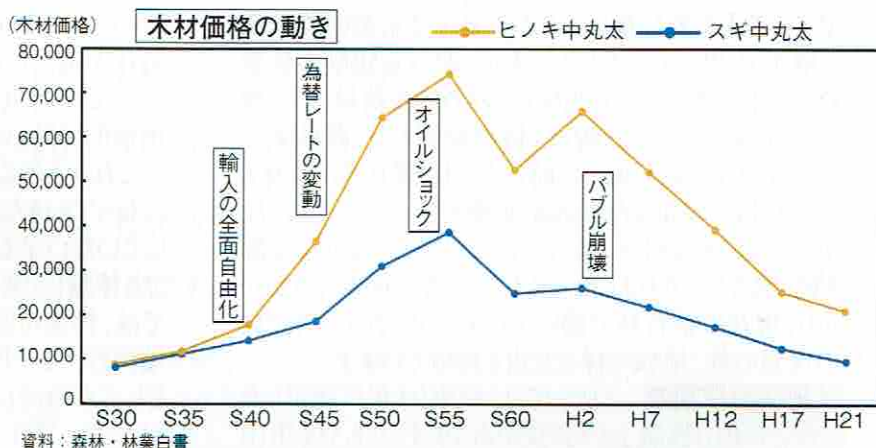
林業知識

Q&A ～木材価格変動の歴史～

現在、日本政府でTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加が検討されており、参加国同士では自由貿易となる見込みのため、国内の農業には大きな影響があるのではないかと懸念する声があがっています。林業に関しては、製材品の一部と合板・集成材を除き、丸太や製材製品はすでに関税が撤廃されており、TPP参加による大きな影響はないとの見方が強いですが、常にそういった動向に注意を払っておく必要はあります。今回は、愛知県豊田加茂農林水産事務所・林業普及指導員の佐久間学さんに木材価格の変動の歴史とこれからの方向性について伺いました。木材価格の変動の歴史をたどり、これからの林業に目を向けてみましょう!

Q 世の中の動きと国産材価格の変動の歴史について教えてください。

A 国産材価格等の動きですが、昭和39年に輸入が全面自由化されました。また、昭和46年に為替レートが固定相場性から変動相場制へと変わり、木材価格が国際価格へととなりました。しかし、戦後の復興期と高度経済成長期ということもあり、それでも約20年間、木材価格は上昇を続けました。下げるきっかけはオイルショック・バブル崩壊といった、景気の悪化による木材需要の減少といったことではないかと思われます。



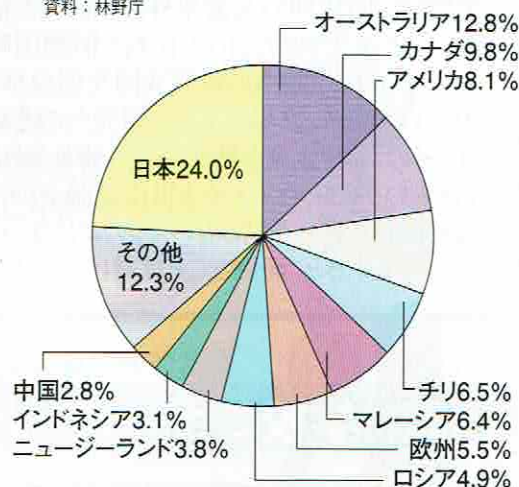
Q 現在の木材の輸出入の状況と国産材の位置は?

A 平成20年の木材の輸入量は、オーストラリアが最も多く、次にカナダ、アメリカの順に続いています。丸太ではアメリカ、ロシア、製材ではカナダ、欧州、パルプ・チップではオーストラリア、チリ、合板等ではマレーシア、インドネシアの順に多くなっています。輸出国における丸太輸出規制や高付加価値製品の輸出振興等により、形態は丸太から製品にシフトしています。世界の木材需給においては、ロシアや中国の存在が大きく、今後は両国の動向が大きな影響を及ぼすと考えられます。

国産材の自給率は平成7年以降は20%前後で推移していましたが、供給量の増加と外材輸入量の減少により、上向き傾向に転じ、平成20年は木材自給率は24.0%となっています。農林水産省は平成21年12月、森林・林業を再生していく指針となる「森林・林業再生プラン」を策定し、様々な取組みが始められ、10年後の木材自給率50%を目指しています。

木材の供給状況(平成20年)

資料：林野庁



Q 現状から考えられる対策は?

A 現状では、材価を大幅に上げることは難しいですが、戦後植林されたスギ・ヒノキは十分に成熟してきており、有効かつ適切な施業を取り入れれば林業再生の可能性は高いと考えられます。

そこで、愛知県では、林業に掛かる経費をトータルで減らしていく「低コスト林業」を進めています。低コスト林業とは、セット化した高性能林業機械の使用や施業地の団地化等による「木材生産」、大型トレーラー等で製材工場へ直送を行う「木材輸送」、疎植造林や保育作業を省略した「造林」の3本柱により、コスト削減を図るものです。これらの対策により林業再生を目指しています!



表紙の

人物紹介

交流と山の恵みを通して
地域を元気に。横山敬司さんひろし 敬司さん (下山地区在住)
64歳

今回ご紹介するのは、下山地区在住で現在しもやま里山協議会会長を務めている横山敬司さん(64歳)です。

横山さんは、現在もお住まいの旧下山村阿蔵地区生まれ。子供の頃から農作業や山仕事の手伝いをしながら育ちました。高校時代には、農林業で生計を立てている人も多く、横山さんも卒業後は家業の農林業を継ごうと思っていたそうですが、幸い愛知県の林業職に合格したことから、当座のつもりで公務員として働き始めました。しかし、程なく情勢が変わり、農林業で生計を立てるのが厳しい時代となり、横山さん自身も家族を持ち安定した収入が必要となったこと、また仕事そのものもおもしろくなってきたことから、定年まで働き続けることになりました。定年後は各方面から声がかかり、現在は県有林で働いていますが、その一方で自治区長の他、地域の様々な役も務めています。

地域の役割の一つとしては、平成21年に発足したしもやま里山協議会の会長があります。しもやま里山協議会は、旧下山村と旧額田町の7団体(後に8団体)が集まって発足した協議会で、企業と連携を図りながら各団体で里山の恵みを利活用する活動を行うとともに、団体間の交流や外部に向けた情報発信を行っています。現在、旧下山村と旧額田町の一部において、トヨタ自動車の新研究開発施設事業が進められています。立場によって開発への想いは様々です。そのため、企業と地元が歩み寄りながら開発を進めるという意味で、しもやま里山協議会の活動は新たな可能性を秘めた試みといえるのではないのでしょうか。

ややもすると、面倒なことは避けたいという人もいる

中、横山さんが様々な地域の役割を引き受けている理由をお伺いしてみると、一つは「自分にできることで少しでもお役に立てれば」とのことで、ボランティア精神を窺い知ることができました。もう一つは、「自分たちの住んでいる地域を元気にしたい」という想いが伝わってきました。横山さんが住んでいる地域では、中学生以下の子どもが全くない集落もあり、人口の減少と高齢化が進んでいるといえます。そんな中で、安全で安心、そして活気があふれる地域にしていくためには自ら積極的に動いていくことが大切なことかもしれません。

これからのことについては、人と人の交流の受け皿になっていきたい。田舎の子でも山仕事や野良仕事をしていない子も多いので、体験イベント等を通して少しでも体験してもらえたらうれしい。また、森林組合に対しては、林業を盛り上げてもらいたいのはもちろん山間地における雇用の場所としても期待している。がんばって仕事をしてもらい、若い人にもどんどん山へ来てほしいとおっしゃっていました。豊田森林組合も、地元でがんばっている人たちの熱意に負けぬよう、森林整備を通して地域に貢献していけたらと思います。

(中尾真季/記)



森林学校ニュース

●開催した講座レポート

「とよた森林学校5周年記念行事」開催

平成18年に開校した「とよた森林学校」も今年で5年目となり、卒業生も600名を超えるまでになりました。そこで、これまでを振り返り、卒業生同士が交流することにより、それぞれの活動がさらに発展することを目的として、3月19日(土)に「とよた森林学校5周年記念行事」を開催しました。

当日は、様々な講座を受講した約130名の卒業生が参加し、賑やかな1日となりました。午前中は2会場に分かれ、森林観察会と山主交流会を行いました。午後からは石野交流館において、中根副校長挨拶をはじめ、5年のあゆみの振り返りや主任講師である北岡明彦さんの講話などを行いました。最後には、OB会設立の提案もされ、今後の活動の広がりが期待されます。

※平成23年度の募集についてはP8お知らせページをご覧ください。



しもやま里山協議会活動紹介

平成22年度の活動

炭焼き体験

8月、11月



炭焼き体験を通して、炭の効用や「里山」との関わりなどの理解を深めています。

薪割り、材入れ、火入れ、炭出しまでを体験。真っ黒になりながら、炭ができるまでを知ってもらえたようです！

(ぬか炭焼きの会)

どんぐりプロジェクト

11月



どんぐりをはじめ様々な苗を育て、「香恋の森」を目指しています。数年後の植樹へ向けて、地元小学生を中心に育てています。

森の先生と一緒に、さあこの芽は大きくなったらどんな樹になるかな？

(香恋の森づくり推進協議会)

稲刈り体験

10月



里山に対する理解を深めてもらい、食に対する「よろこび」を感じてもらいたい、そんな想いがあります。

今回は鎌を使って稲刈り、はざ架け、脱穀までの作業を行いました。

作業後は特大五平餅作り！参加者の皆さんにもとても好評でした。

(しもやま緑地管理組合)

里山整備体験

11月



昔からの知恵を生かし、自分たちの手で自分たちの里山を作っていく、という想いから「こつこつ」と活動しています。切った木はしいたけの原木や炭焼きの材料へ、里山のサイクルをこの作業を通して感じてもらえたようです。

(豊田森林組合)

ささゆりを植えよう！

12月



環境の変化により見られなくなった、ササユリの保全を目指しています。ササユリは花を咲かせるまで約7年。この地域が沢山のササユリに囲まれた素敵な場所にしていきたいと思っています。今年は種まき、球根植えをはじめ、手作りの素敵な看板が出来ました！

(ささゆりの会)

しもやま里山協議会とは？

平成21年11月、旧下山村、旧額田町の地域の7団体が集まり、発足しました。

自然(しぜん)、森(もり)、谷津田(やつた)、守る(まもる)の頭文字をとって「しもやま」と名付けました

私たちが住み、生活している旧下山村、旧額田町では、過疎化や高齢化が進行し、森林、谷津田も手入れ不足や耕作放棄の減少等の問題が進んでいる状況にあります。

私たちは、企業との連携を図りながら、里山の恵みを利活用する様々な取り組みを試みるとともに、私たちの活動を展開するために情報発信をおこなうこととしました。それらが、地域の発展及び人と自然・生態系が調和・共存できる里山環境の保全につながるものと確信し、またそのようになることを強く願っています。(設立趣意書より抜粋)

豊田森林組合も、上記の設立趣意に賛同し、構成員として参画しています。現在は、ささゆりの会も加わり、以下の8団体で活動しています。

下山地域まちづくり推進協議会／下山学区対策委員会／香恋の森づくり推進協議会／ぬか炭焼きの会／しもやま緑地管理組合／岡崎森林組合／豊田森林組合／ささゆりの会

ホームページ
が完成しました。

<http://woodytoyota.net/satoyama/index.html>

※豊田森林組合ホームページからも「しもやま里山協議会」で入れます。

【問合せ】しもやま里山協議会事務局(豊田森林組合下山支所内)

TEL 0565-90-4137

E-mail: kaihatsu@woodytoyota.net

これからも各団体、「里山保全」を目標に個性を生かした活動をおこなっていきます。

平成23年度では田植え体験、炭焼き、里山整備、どんぐりプロジェクトなどを計画しています。私たちの里山を自分たちの力で少しずつ良くしていこうと活動しています。ぜひ、みなさんのご参加をお待ちしております。

組合員へのお知らせ

自力で間伐をやっている皆さんへ!

4月から小径の間伐材を森林組合が買取ります。

豊田市では、平成23年度より間伐によって伐採された小径木を、木質バイオマスとして活用することを試行する補助制度を始めます。この補助事業では、森林組合が事業主体となって、小径間伐材の集荷業務を行いますので、皆さん奮って組合の木材センターに軽トラックで持ってきてください。

【豊田市木質バイオマス活用促進事業】

この事業は、間伐材を木質バイオマスなどに活用することで、森林整備の促進と森林所有者の皆さんの小径間伐材の生産意欲を高めることを目的として、間伐材の搬出などにかかる経費の一部が市から補助されるものです。

《事業の内容》

森林組合は、市内の人工林所有者が自分で伐採し、森林組合の木材センター（組合本所）に直接搬入された間伐材について、市からの補助金を活用し下記のとおり買取を行います。

買取り間伐材の規格	太さ 末口直径8cm以上 長さ 1.8m～2.2m（軽トラックの荷台に収まるサイズ）
買取りの対象となる者	森林組合員を原則とします。（同居の親族若しくは、相続代表者なども可。） ※間伐事業や運搬業務を他の者に委託された場合は、そのことを証する契約書等の提示が必要。
買取り価格 （市からの補助金を含む）	末口直径8cm以上～16cm未満 1本あたり100円 末口直径16cm以上 1本あたり200円 ※代金の支払いは、金融機関口座への振込みになります。
搬入場所	豊田森林組合本所 木材センター ※必ず組合職員の立会いにより指定の場所に荷降ろしすること。
事前連絡	書類の記載等必要ですので、 事前に必ず森林組合へ連絡をください。

《この事業の問合せ連絡先》

豊田市役所 森林課 TEL 0565-62-0602
豊田森林組合 林産課 TEL 0565-61-1616

軽トラック1杯（30本）で3,000円
さあ、始めましょう!!



とよた森林学校

2011年度
参加者募集!

2011年度も森林に親しむ講座から、山主の方向けの講座まで各種講座を開催します! ぜひご参加ください。

山主森林経営講座

山についてちょっと勉強してみよう!

日程 5月14日(土)～10月9日(日) 全8回

内容 森林の仕組みと野生植物、間伐の必要性、原木マイタケ栽培、森林経営の心得、間伐体験、木材評価と市場見学、持ち山見学会など

定員 10名（定員を超えた場合は抽選）

参加費 8回分一括 8,000円（別途材料費）

申し込み締切 4月22日（金）

山主自力間伐講座

自分の山を間伐して補助金をもらいましょう!

日程 11月 5日(土)、6日(日)

11月19日(土)、20日(日)

内容 間伐研修3日間、豊田市の森づくりとまとめ。
※チェーンソー目立てや
かかり木処理なども行います

定員 10名（定員を超えた場合は抽選）

参加費 4回分一括 4,000円

申し込み締切 10月14日（金）

○講座案内はホームページからもご覧いただけます。また、ご希望の方にはパンフレットをお送りします。

【問合せ先】とよた森林学校事務局（豊田森林組合内）TEL 0565-61-1618

とよた森林学校

検索 クリック!